

7 02580

新規  
開講!

# 2025年に向けた 病院経営戦略

～いよいよ始まる「減反政策」にどう向き合う?～

第6次医療法改正により、地域医療ビジョンの実現に向けた病床機能再編は、いよいよ強制力を伴うものとなりました。

2014年10月から始まった「病床機能報告制度」と2015年度から始まる「地域医療構想調整会議(協議の場)」から、我が国の医療界がいままで経験したことのない「減反政策」が始まろうとしています。2025年までの地域包括ケア実現に向けての大改革が始まる一方で、地方都市での急性期医療は斜陽産業になりつつあります。

過去の経験が参考にならないこの先の10年間に向け、本講座では「集約化」「戦略的撤退」までを視野に入れた病院経営戦略と、その中での院内各部門の役割につき、都市部、地方都市に分けて検討していきます。

NOMA  
NIPPON OMNI-MANAGEMENT ASSOCIATION

東京開催

日時 平成27年  
3月12日(木) 13:30～16:30  
(1日/3.0時間)

会場 東京・代々木・本会内セミナー室  
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8 (別紙図参照)  
TEL (03) 3403-1972

講師 横浜医療法務事務所  
(有)メディカルサービスサポーターズ  
代表取締役・パートナー きしべ こういち  
岸部 宏一氏

参加料 会員: 27,000円(税込)  
一般: 32,400円(税込)  
※テキスト・資料代含む

対象 ● 病院長、医師、看護部門長  
コ・メディカル管理者の方々  
● 経営企画室(部・課長)、事務局長(事務長)  
事務部門管理者

一般社団法人 日本経営協会

## プログラム

### I. プロローグ 医療法改正を踏まえた病院の現状

1. 医療法改正の背景とこれまでの改正の流れ
2. 第6次医療法改正のポイント
3. 厚労省が目指す2025年の医療介護提供体制イメージ
4. 2025年までの改訂予想スケジュール

### II. 生き残りをかけた病院経営戦略

1. 「地域医療構想調整会議(協議の場)」からいよいよはじまる「減反政策」
2. 「生き残る病院」と「役割を終えた病院」の分かれ目は?
3. 求められる医療機能分化と地域連携はいかに構築すべきか?
4. いまや花形部門となった地域連携室/MSWの役割は?
5. 生き残りに向けて院内各部門がいますぐにすべき経営体質強化メニュー  
(今後の審議過程により内容は一部変更することがあります)

### III. まとめと質疑応答

#### 講師プロフィール

横浜医療法務事務所/有)メディカルサービスサポーターズ  
代表取締役・パートナー

きしべ こういち  
岸部 宏一氏

行政書士 福祉住環境コーディネーター かながわ福祉サービス第三者評価調査者  
日本医師会医療安全推進者 個人情報保護士。

中央大学商学部卒業。バイエル薬品(株)での10年余のMR経験後、民間医療法人(人工透析、消化器内科)事務長から(株)川原経営総合センター医療経営指導部勤務を経て2003年独立。2004年10月有限会社メディカルサービスサポーターズを設立。医療法務分野での第一人者、医療政策研究者として、400床前後の中規模病院～診療所の経営戦略から運営実務までの経営コンサルティングをライフワークとする。事務所ドメインは「院外経営企画室」。